



三潯保育園 園だより

September 2023

もう9月。まだまだ暑いですが、ふと秋の気配を感じる頃になりました。

8月。プールや水鉄砲、小さな子達は水を張ったたらいで、各々夏を堪能しました。

それに8月はお盆休み。休み明け、充足感のある顔で「聞いて！」とうずうずしている子に嬉しい気持ちになります。久々の登園で「ママがいい・・・」としょんぼりつぶやく子も、「家族の時間を楽しんだんだな」と、これまた嬉しい気持ちになります。就学前の子ども達にとって、家族に受け入れられ安心して過ごす事が人生一生分の心の柱になりますから、きっと子ども達にとってもかけがえのない時間になった事だと思います。

そのお盆明け初日。8月17日。久しぶりにほとんどの園児が集まった賑やかな保育園を定点観測。



久々の登園なのにフルスロットルで楽しむ人達がありました。水遊びにそうめん流し、セミを見つけて分解し始めそうな子、たなばたジャンボリーが忘れられず再度お祭りを計画&準備するクラス、近

所の散歩ついでに公園を全力疾走するクラス。お隣のクラスが気になって仕方ない子。平和ににこにこして過ごすクラス。リフレッシュしたパワー全開の大人と、楽しいお休みで心が満タンの子ども達、楽しそう。園内異常なし！秋の入り口も、その調子！

國友 裕子

クラス目標 ~1か月大切にしたいこと~

- たんぽぽ組**
 - 安定して過ごせるよう生活リズムを整える。
 - 活動範囲を広げながら、カラダを動かすことを楽しむ。
- もも組**
 - 十分に体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。
 - 季節の移り変わりを感じながら、自然に触れ合って遊ぶ。
- ばら組**
 - 夏の疲れや季節の変化に注意し、健康に過ごせるようにする。
 - 自分で出来る身の回りのことをしようとする。
- うめ組**
 - 様々な運動遊びの約束を通して友達と一緒に活動をする楽しさを味わう。
 - 季節の移り変わりに気付き、自然に興味や関心を持つ。
- すみれ組**
 - 季節の移り変わりを感じながら、秋の自然や気候に親しむ。
 - 友達と一緒に遊びながら、自分の想いと相手の想いの違いに気付きながら遊ぼうとする。
- ゆり組**
 - 様々な人に関心を持って関わり、学びを深める。
 - 季節の移り変わりに気付き、興味を持ち遊びに取り入れて楽しむ。



HAPPY REPORT !

りさせんせい、結婚式をあげました。こんなかわいい笑顔、初めて見たよ！
これからも家族を大切に、幸せな毎日を！
保育園でも子ども達と一緒に楽しく幸せに過ごそうね！おめでとう！



スタッフ一同

「水の連ドラ」発表しました！

8月26日 日本海洋教育学会主催の海洋教育実践発表会@東京大学で、ここ数年取り組んでいる環境教育について発表をしてみました。就学前児童に対し、このような取り組みをしている例が珍しいようで、皆さん興味を持って聞いてくださいました。



● 9月の行事 ●

- 2日(土) 遊戯会衣装打ち合わせ
クラス毎に指定時間あり
- 12日(火) 避難訓練
- 18日(月) 祝・敬老の日
- 19日(火) おべんとうの日
- 23日(土) 祝・秋分の日
- 28日(木) お誕生会
- 25日(月) 身体測定 ~29日(金)

※9月も実習生や中学生の職業体験で学生の皆さんがお越しになります。

おまつりは、終わらない。

7月の七夕ジャンボリー（保育参観&お祭り）。うめ・すみれ・ゆり組の子ども達は、保育の延長線でお祭りスタイルの保育参観。それぞれが「お店屋さん」を開くことにしました。

◆「うめ組のうめジュースやさん」（3歳児・うめ組）

ここ数年恒例になっている「うめ組のうめ観察」。子ども達は赤い梅干しを知っているけれど、うめの色を知らないことが多いのです。だから、自分達のクラス帽子の色が緑色であることがちょっと不思議。散歩中、小さな緑の木の実をみつけて、今年も観察がスタートしました。ちょっとずつ大きくなる木の実をみいでみて、ククン。いい匂い。くさい。色んな事を感じながら、大きく育った梅を収穫。今年も美味しい梅シロップが出来ました。子ども達はお祭りの日にジュースを作って販売することにしました。

さあ、その売り上げ、もうさっそく先日使いました。

曰く「また、お祭りしたい！」とのことで、子ども達と準備。お店にかき氷も買いに行きました。お面屋さんのワークショップコーナーあり、チョコバナナ、空揚げなどもりだくさん。充実したお金の使い方をしてみたいです。「楽しかったから、もう一回！」を叶えることが出来ました。

◆「プチパン屋さん&ゲームコーナー」（5歳児・ゆり組）

散歩中に「あれって何？」と畑を指して疑問を持つ姿からスタート。麦って言うらしい、小麦粉になるらしい、小麦粉って何が作れると？？時間をかけて子ども達が想いをめぐらし、大人が創意工夫したのはタコ焼き器で作るホットケーキ。シンプルに言うとベビーカステラみたいなもの。甘くていい匂いのそれは、試食してばっちり！売れるね！

さ、当日は想像以上の売れ行きで、大人のほうが「売れました！」と鼻息がぶが。当日、地道にコロコロと竹串でひっくり返して作り続けた甲斐があった！

それともう一つ！去年の年長さん達みたいに、自分達もお祭らしいゲームを自分達の手で作り上げて盛り上がりたい！時間をかけて作ったダイナミックなゲームコーナーは、当日大賑わい。歓声と笑い声とであふれました。アクセサリコーナーや自分達で作った衣装なども、子ども一人一人が、お祭りの日を想像しながら用意したもの。

ゆり組は、この売上、何に変身するのでしょうかね。このクラス、お金を稼いで使う事に関しては、もうお手の物。楽しみに追いたいと思います。

◆「いちごゼリーといちごパン。うめジュース」（4歳児・すみれ組）

クラスの女の子のご家族のご厚意で、いちご狩りへ。大人たちは、ジャムにしようと考えていたけれど、子ども達のアイデアから「いちごあめ」のアイデアがでちゃった！大人も「楽しそう！」と。他のクラス担任に何気なく「子ども達からいちごあめがいいってアイデアが！」というところ、そのスタッフが「できますよ！」とアドバイス。翌日には子ども達と念願のいちごあめ。残った沢山のいちごは甘いおいで煮詰められ、瓶詰に。さあ、これでたなばたジャンボリーの日にお店は何しようかな？なんて考えていたら、梅の実も気になる！子ども達の記憶、楽しいことはまたやりたい！実は、「去年作ったうめジュース、美味しかったもんね」という事で、急遽梅も仲間入り。

当日はいちごサンドと、ジュースとうめゼリー。盛りだくさんでお客さんも喜んでくれたそう。ここでの売り上げ、子ども達は早速話し合い。そうめん流し、パーベキューの二択になったそうです。そして最終的に決まったのが表面にもあるそうめん流し。竹を割って、自分達ですりすり削って作ったお箸。みんなで買い出しに行ったそうめんやお出汁。自分達で稼いだお金で自分達が欲しいものを買ってなんかカッコイイ！当日は勢いよく流れるそうめんや野菜を真剣にキャッチ！お手伝いの保護者3名も含めて賑やかにワイワイ日焼けしながら頂きました。

年上のクラスの人達がうらやましそうに見つめる中、「これね、ジャンボリーの売り上げでやりよると！」と一言。（笑）

大人が用意する教育も大切かもしれないけれど、時には子ども達が自分達で「やりたい！」「やろう！」「やれた！」と満足することも大切なのではないかな、と思うのです。だって、大人になるって、そういう事だと思っから。自分で考えて、自分で決めて、アクションを起こす！

いつまでもひな鳥のようにエサを待つだけだと、大人になれませんね。

成し遂げたい！の情熱を叶えるには何が必要なのか考えたりすることって、仕事や人生にとって欠かせないセンス。用意された問題だけを解く人生なんて存在しないですから。

いや、実はスタッフ達を見ていて思うのです。「この人達、自分達でするって決めたら、やる人ただなあ。」と。

子ども達の感性を引き出しながら、形にする！自分達も楽しむ！という事にかかる熱意。たまに、直前になってあたふたする姿も見ているけれど、どうにか貫徹する感じを頼もしく感じています。

（うめ組が、お祭りの売り上げで、再度お祭りをする様子）

